



「気候変動に対する適応を考えるシンポジウム」 ～阿武隈川のこれからを考える意見交換会～を開催しました！

○気候変動を取り巻く現状や増大するリスク、今後の展望等について、学識者等から幅広い観点で情報提供いただき、流域関係者で共有する事を目的とした**気候変動に関するシンポジウム**を開催しました。
○東北大学および福島大学の先生5名および国立環境研究所の福島支部研究グループ長より講演いただき、国土交通省からは阿武隈川における減災対策について情報提供を行いました。

- 日 時：平成30年7月13日（金）
 - 場 所：コラッセ福島 5F 研修室
 - 出席者：阿武隈川流域の防災担当行政関係者
総勢約100名が参加。
 - 共 催：文部科学省 気候変動適応技術社会実装プログラム
SI-CAT
阿武隈川上流大規模氾濫時の減災対策協議会
 - 後 援：阿武隈川サミット実行委員会
福島大学共生システム理工学類
- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 【講演者】 ※講演順 ■ 適応化 : 林誠二(国立環境研究所) ■ 砂浜 : 有働恵子(東北大学災害科学国際研究所) ■ 貯水池 : 梅田信(東北大学大学院工学研究科) ■ 森林火災 : 横尾善之(福島大学共生システム理工学類) ■ 斜面崩壊 : 川越清樹(福島大学共生システム理工学類) ■ 洪水 : 風間聡(東北大学大学院工学研究科) ■ 阿武隈川の減災対策 : 国土交通省東北地方整備局
福島河川国道事務所
仙台河川国道事務所 |
|---|

【講演者】



林誠二 研究グループ長 (国立環境研究所)	有働恵子 准教授 (東北大学)	梅田信 准教授 (東北大学)	横尾善之 准教授 (福島大学)	川越清樹 准教授 (福島大学)	風間聡 教授 (東北大学)
--------------------------	--------------------	-------------------	--------------------	--------------------	------------------

本シンポジウムは阿武隈川の直轄改修事業が平成31年をもって100周年を迎えるにあたり、**100周年事業イベント**として開催しました。



阿武隈川改修100周年に向けて、今後一層、流域関係者での気候変動に関する議論を深めていきます。